

潮来市の誇れる文化 第154回

潮来市津知に静かに眠る隠退した霊獣

上野山禎造

潮来市辻の二十三夜尊堂の隣に子育て観音菩薩を祀る建家内座敷の片隅に木製で古びて朽ちた木彫り像二対と付属物、クジラが水煙を吹上る噴水のような物等、得体の知れない霊獣像が置かれています。

この像は、旧延方村郷校・学校が明治五年（1872）廃校、同十一年当時の旧辻村が同廃学舎を購入村役場東隣に移築、この建物が元孔子聖廟で現二十三夜尊堂です。

初代の延方郷校は、文化五年（1808）水戸藩、地元等の資金にて、延方村内田山（現潮来高校東端）に孔子を祀る孔子聖廟建立、水戸藩第七代藩主治紀（はるとし）公より「至聖文宣王」の掛け軸を賜りました。

尚 この孔子聖廟は、現在潮来市辻の特大山 恵雲寺境内に移築七面堂として現存しています。

文政三年（1820）一月に新たに孔子聖廟舞監館（起工）、同年九月十六日文館開校（竣工）、第八代藩主斉脩（なりのお）公より「至聖先師孔子神位」神位牌を賜りました。

月讀神社（二十三夜尊）お堂は元延方郷校孔子聖堂です。

特徴は大屋根の棟瓦両端部の飾り鬼瓦は通常内向きですが当聖廟の鬼状頭（ぎざんとこ）を外向きに据えその頭部より水煙を吹上る孔子聖廟様式です。

日本では唯一創建当時の姿で現存する最古の聖廟です。

隣の建物内に子育て観世音菩薩を祀り、聖廟創建当時から隠居の古い木製の鬼状頭が二対保管されています。

このような木彫の遺物、鬼状頭が現存することは他に無く現像しか存在せず後世に引き継いでいくことは潮来市民の責務だと心得ます。

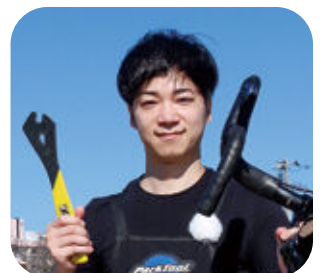
水煙等が本体より離脱しているため本来の姿に復元保存を要し、早急に補修する最後時期でしょう。



隠居した鬼状頭

地域おこし協力隊通信

第87回



鈴木 久仁寛さん
(すずき くにひろ)

■プロフィール

出身地: 東京都

趣味: 自転車、料理、読書

公民館講座実施します。

詳細はP10をご確認ください。



2026年4月に潮来市地域おこし協力隊に着任しました、鈴木久仁寛です。これまで約12年間、自転車専門学校で講師を務め、メカニックや映像制作、SNSでの情報発信など、自転車に関わる仕事を続けてきました。

潮来に来てから実際に自転車です内を走ってみると、水辺や田園風景、昔ながらの街並み、地域のお店など、車で通り過ぎるだけでは気づかなかった景色がたくさんあることに驚きました。特に潮来は平坦な道が多く、自転車でゆっくり地域を巡る楽しみ方と、とても相性の良いまちだと感じています。

観光地として知られている場所だけでなく、地元の方にとっては当たり前になっている風景や道にも、市外の人から見ると魅力的な場所があります。そうした「まだ知られていない潮来」を、自転車を使って見つけ、つないでいくことが私の活動の一つです。これから市内をさらに走りながら、地域の皆さんのお話も聞き、自転車で楽しめる「コースづくりや動画・SNSでの発信、子どもたちへの交通安全活動など」につなげていきます。潮来の新しい楽しみ方を、皆さんと一緒ににつけていけたらと思います。